

「金属と木で いい感じ！」

令和6年11月22日 6年2組

教諭

金属と木の様々な材料を選択し、金属や木材の加工をした新たな形を組み合わせ、感じたことから自分の表したいことを見つけ、工夫して立体に表す。

第1時

材料の特徴を生かして、金属で新しい形をつくろう。

＜材料や用具と向き合う時間の設定と児童の気づきに共感する働きかけ＞
金属や木などの材料に触れ、材質感の違いを感じ、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を、総合的に生かして表し方を工夫して表す。



缶をたたいて平たくしてみたら、新しい形になったよ。

針金でつなぎ合わせてみたら、おもしろい形になったよ。

第2時 第3時

金属と木の新しい形を組み合わせ、表したいことを見つけよう。

表したいことに合わせて、表し方を工夫しよう。

第4時 本時

自分の考えや活動を振り返り、バランスを工夫して自分だけの「いい感じ」を表そう。

＜自分の見方や感じ方を深めるための、「対話を生み出す」工夫＞
組み合わせている材料をさまざまな方向から見たり、友達のつくったものを鑑賞したりできる場の設定を行うことで、バランスに着目して表すことができるようにする。



楽しい感じにするために、金属の材料を使ってキラキラさせていこうかな。

バランスはどうか。いろいろな角度からじっくり見てみよう。

第5時

自分だけの「いい感じ」を高め、表していこう。

第6時

表したもののから、感じたことや考えたことを紹介しよう。



私の夢の遊び場
自分が理想とする遊び場を表しました。下から上まで様々な遊びができるようになっていて、特に空き缶を切って丸めることで、楽しさを表しました。



遊び場ツリー
子供たちが遊べる場所を表しました。遊具やトンネルなどをつくり、楽しめるように工夫しました。トンネルは、空き缶にアルミホイルを巻いて表しました。



小学校の6年間
楽器や自然を表すことで自分の6年間を表しました。自分の思い出である楽器を演奏をしたこと、自分が過ごした学校の自然を表現しました。